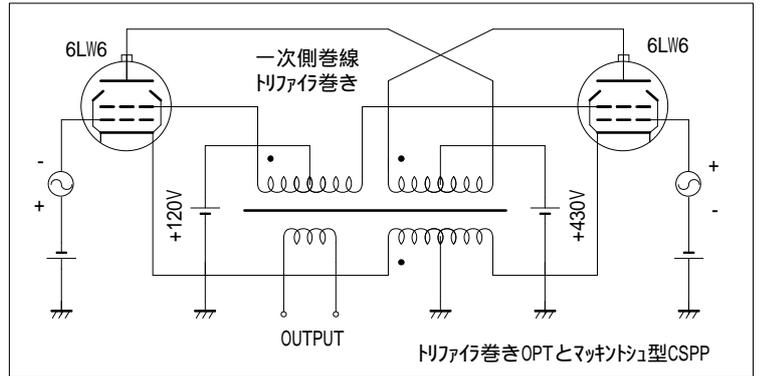


アンプ部回路図

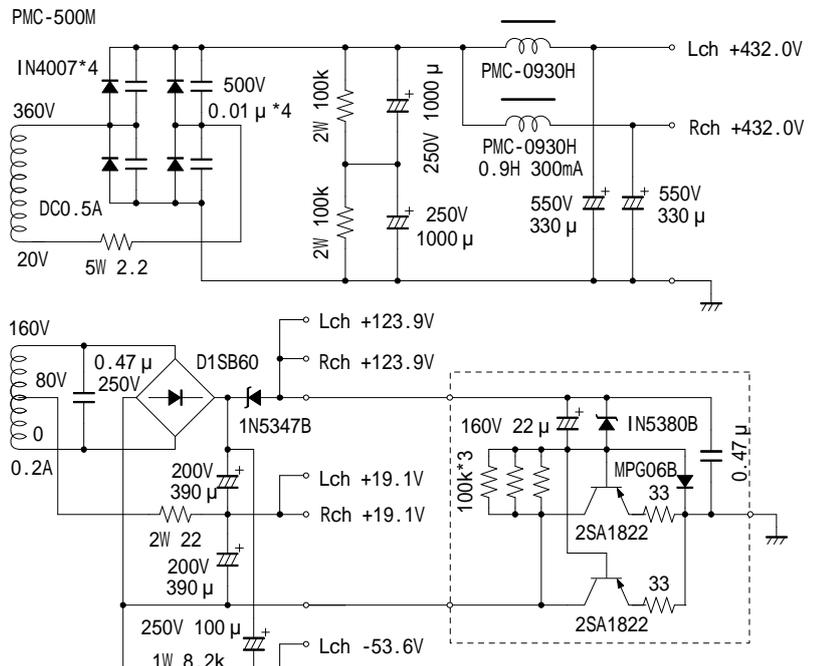


史上最小クラスの水平偏向管21A6を用いた前作 ([http://www.za.ztv.ne.jp/kygbncjy/tubeamp/21A6/21A6\\_CSPP.htm](http://www.za.ztv.ne.jp/kygbncjy/tubeamp/21A6/21A6_CSPP.htm)) で上手く行った、水平偏向管とトリファイラ巻きOPTとを組み合わせたマックintosh型クロスシャントプッシュプル(CSPP)アンプの追試です。

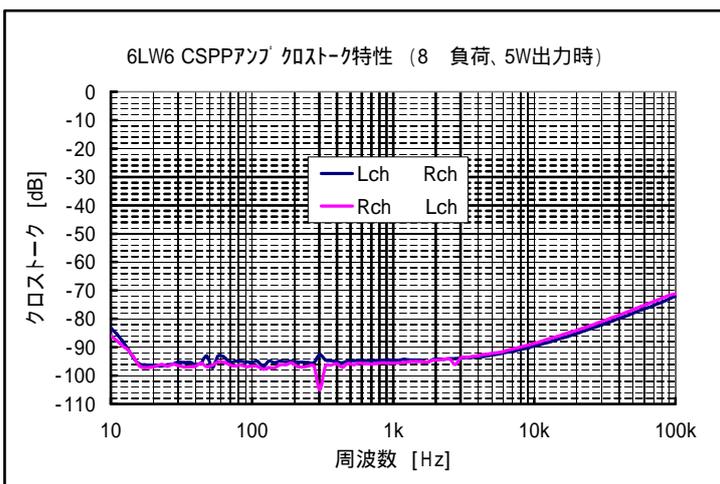
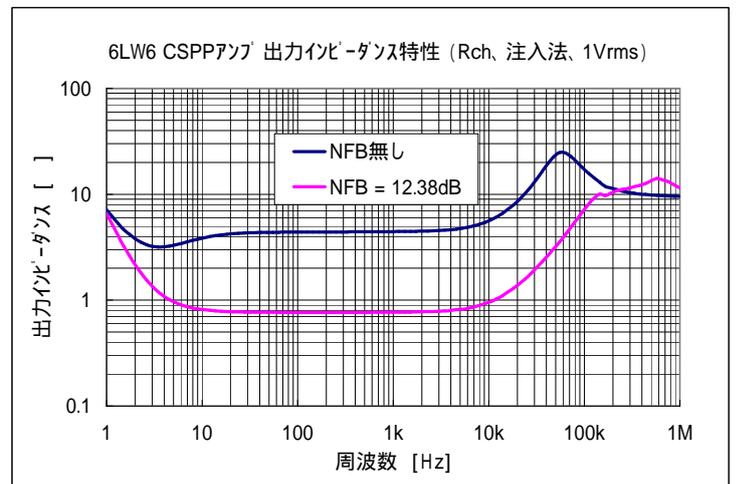
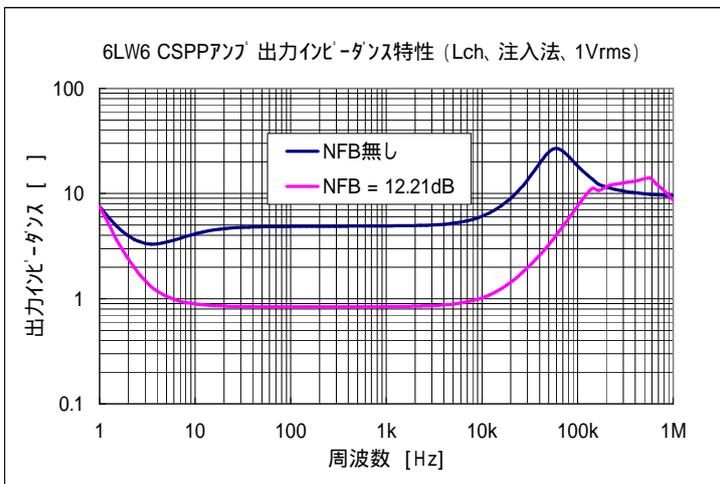
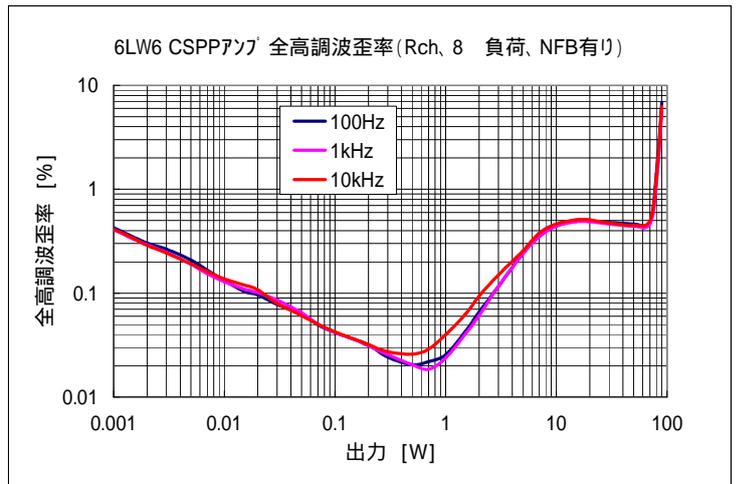
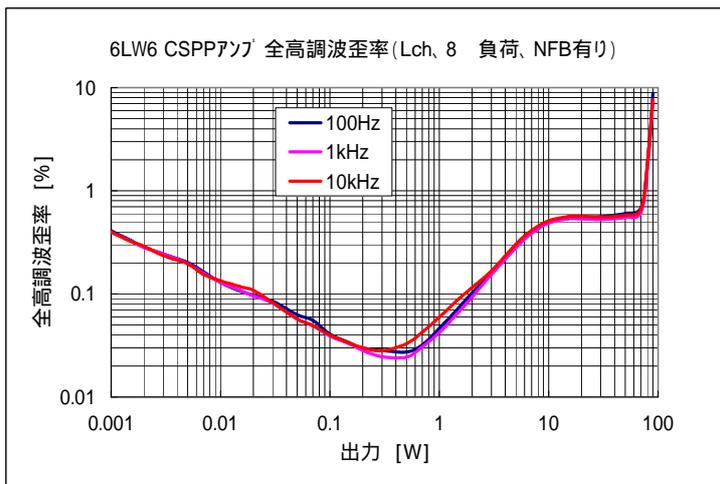
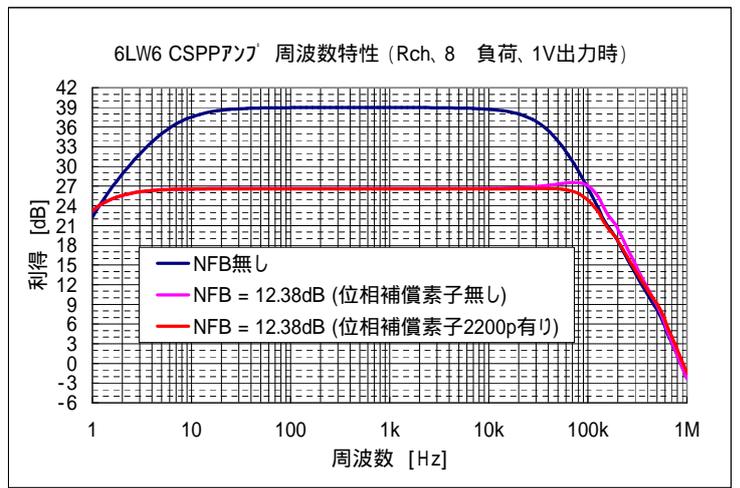
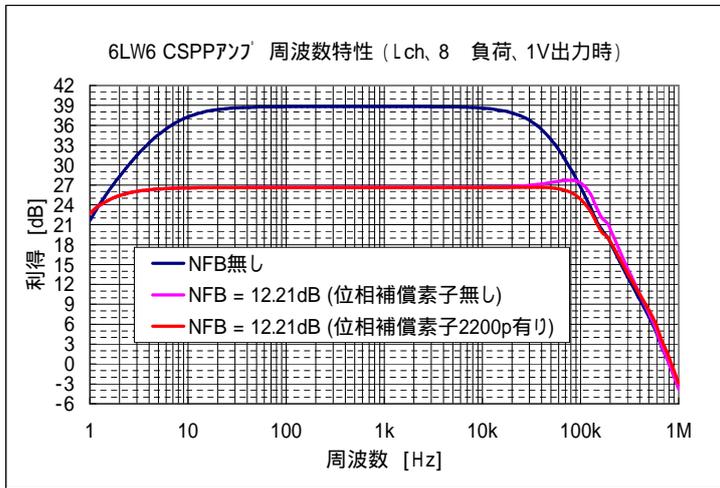
本機は一次側巻線をトリファイラ巻きにした出力トランスを使用して、水平偏向出力管の良さを最大限に引き出すことを狙ったCSPPアンプです。回路的には右上図のようになっており、トリファイラ目の巻線を使ってスクリーングリッドへの給電を行い、スクリーングリッド電圧の低い水平偏向管に対応しています。

今回はOTLアンプに対抗するため、史上最大級の水平偏向管である6LW6を起用して、出力アップを図りました。

既存のアンプのOPTを入れ替えてCSPP化したのですが、残念ながらドライブ段でクリップしてしまい、目標だった100W出力は達成できませんでしたが、何とかMC275を凌駕する最大出力？を確保することができました。



電源部回路図



残留雑音

	10 ~ 300kHz	IEC - A
Lch	294.1 μV	89.16 μV
Rch	292.2 μV	58.58 μV

ダンピングファクター (注入法, 1kHz, 1Vrms)

Lch	9.13	(無帰還状態で1.57)
Rch	10.00	(同上 1.73)